

## 4. 昭和30年度の研究成果発表の状況

### 出版物

次の3種がある。

#### 東京大学生産技術研究所報告（略称 生研報告）

所員のまとまつた研究成果を上しする。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間10種前後を出している。

#### 生産研究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で出している。

#### 生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、簡略に写真中心に編集したものである。29年度から刊行を始め、初年度に30種、30年度17種を出した。毎年10種程度刊行する見込である。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

昭和30年度（4月～3月）に発表した分を次に列挙する。

#### A. 東京大学生産技術研究所報告（研究発表誌）

巻 号	題 目	著 者	発行年月
5・2	摩擦吸振器とその調整条件（英文）	亙理 厚	30. 8
5・3	筑後川における洪水流特性のうつりかわり （英文）	高橋 裕	”
5・4	ローラー支持せる鉄筋コンクリート造変断面 球殻の構造設計とその施工（英文）	坪井 善勝 秋野 金次	30. 9
5・5	終局荷重設計法に関する基礎的研究	田中 尙	30. 11
5・6	セリメトリーによる有機微量分析法の研究 （英文）	高橋 武雄 木本 浩二 桜井 裕	”
5・7	流体変速機の研究（英文）	石原 智男	”
5・8	水晶沓波器の研究（線支持共振子，安定発振 器，沓波器）	尾上 守夫	31. 3
5・9	鋳造における湯の流れについて	千々岩健児	”

## B. 生産研究 (月刊研究紹介誌)

巻号	題目	著者	年月
7・4	軸流水車内の流れについて	石原 智男	30. 4
		井田 富夫	
	微分解析機とその応用 II	渡辺 勝	"
		三井田純一	
	試作電子管式アナログ・コンピュータの現状	野村 民也	"
		池田 健	
		富田 文治	
		鴨井 章	
		長谷川 毅	
	軽合金製ヨット	安藤 良夫	"
	切削温度に関する研究 (第1報) (速報)	竹中 規雄	"
		吉岡 潤一	
	相似模型による船型試験 (速報)	田宮 真	"
	マグネシウム漂白粉の電解生成条件, とくに	野崎 弘	"
	電解材質と電極密度の影響に関する実験 (速報)	藤代 光雄	
7・5	トルクコンバート付自動車の研究 (続報) (速報)	宮津 純	"
		高橋 安人	
		平尾 収	
		亘理 厚	
		石原 智男	
	音楽堂の音響設計について	渡辺 要	30. 5
	一神奈川県立音楽堂を例にして一	石井 聖光	
	カーバイト滓を細骨材として代用したときの コンクリートの性質	水野 俊一	"
	後退翼およびデルタ翼の光弾性応用解析	河田 幸三	"
	材料の残留応力の大きさ —"転位" の立場から—	神前 熙	"
鉄道の苦闘	沼田 政矩	"	
並流および向流熱交換器動特性の新表現 (速報)	H. Paynter	"	
	高橋 安人		

巻 号	題 目	著 者	年 月
	線材の捻回試験 (速報)	鈴木 弘 橋爪 伸 伊藤 保男	30. 5
	地震計の自動起動装置の試作 (速報)	岡本 舜三 清宮 勝行	"
	オメガトロンに直流電場を重ねたときの分解能について (速報)	富永 五郎 庄司 洌	"
	水位計の改良試作 (速報)	高橋 幸伯	"
	低速度型電子管式積分器の試作 (速報)	森 大吉郎 荘司 敦	"
7・6	針布線用鋼線の逆張力連続伸線試験	鈴木 弘 橋爪 伸	30. 6
	ガスタービンの運転の安定性について	水町 長生	"
	棒および板の横衝撃	森 大吉郎 荘司 敦	"
	クロロフィル誘導体に関する研究 (速報)	藤森 栄二	"
	プレートガーダーの荷重分担について (速報)	久保慶三郎	"
	オッシロ・ポーラログラフの研究 (速報)	仁木 栄次 白井ひで子	"
7・7	H T 52 張力鋼の溶接	安藤 良夫	30. 7
	写真の定着について	菊池 真一	"
	送電線への落雷	藤高 周平 麻生 忠雄	"
	ラジアルタービンの動翼出口における流出角 (速報)	水町 長生 内田 正次 金子 和男	"
	鋼管の押し拡げ試験について (速報)	鈴木 弘 日比野文雄 井上 勝郎	"
	自動車の走行抵抗に関する実験 (速報)	平尾 収 大谷 建一	"
	格子式超高速カメラの研究 (速報)	植村 恒義 森重 照夫	"

巻号	題目	著者	年月
7・8	トルクコンバータの性能におよぼす作動油中の気泡の影響について (速報)	石原 智男 河西 隆	30. 7
	A V S A研究計画について	糸川 英夫	30. 8
	国際地球観測年について	永田 武	〃
	ペンシル・ロケットの計画と飛翔試験結果総合報告	糸川 英夫	〃
	ペンシル・ロケット国分寺飛翔実験全体記録	山口 文二	〃
	ペンシル・ロケットエンジンの実験	戸田 康明	〃
	性能計算	銭 福星	〃
	高速度カメラによるペンシル・ロケット飛翔特性の解析	植村 恒義 山本 芳孝	〃
	電気標的と電磁オッシログラフ及び実験結果	吉山 巖	〃
	7・9	1トン試験熔鋸建設について	金森研究室
鉄骨鉄筋コンクリートの強さ		坪井 善勝 若林 実	〃
抵抗線歪計による動的応力測定装置の周波数特性の検定法		大井光四郎 浅野 六郎	〃
閃絡点標定器用パルス変圧器		藤高 周平 細川 宏一	〃
掛算器および函数発生器の試作 (速報)		荘司 敦	〃
姫路城大天守附近の基礎地盤 (速報)		三木五三郎 今村 芳徳	〃
干渉計による高速翼列実験 (速報)		玉木 章夫	〃
銅単結晶のクリープ		柳下小太郎 谷 安正	〃
電子管式アナログ・コンピュータの回路結線法と解の安定性について (速報)		野村 民也	〃
7・10		海塩工業とイオン交換樹脂	山辺 武郎
	ニトロパラフィンとその応用	浅原 照三	〃
	T V用 63.5 $\mu$ sec の遅延回路	高木 昇 尾上 守夫	〃
	ゲルマニウムの精製と単結晶生成	安達 芳夫 後川 昭雄	〃

巻 号	題 目	著 者	年 月
	鉛および鉛合金の結晶粒度に関する研究(速報)	加藤 正夫	30. 10
	—微量の As, Ag, Cu, Te の影響—	西川 精一	
	アマルガメーテッド・アルミニウムの流電陽	久松 敬弘	〃
	極特性(Ⅱ)(速報)	鈴木 鉄也	
	含クロム高炉スラッグの特性(Ⅱ)(速報)	松下 幸雄	〃
	無作為パルスの頻度分布測定装置(速報)	森脇 義雄	〃
		久保 卓藏	
		高崎 沛美	
7・11	橋梁設計上の最近の傾向について	福田 武雄	30. 11
	西海橋のスパン測量	丸安 隆和	〃
		大島 太市	
	架設応力の測定について	岡本 舜三	〃
		末 七郎	
		安中 久二	
	全方向微風速計とその応用について	勝田 高司	〃
		後藤 滋	
	トルクコンバータの伸線機への応用	鈴木 弘	〃
	蒸着ニッケル触媒による油脂の水素添加	浅原 照三	〃
	(速報)	三好 淑子	
7・12	金相電子顕微鏡	谷 安正	30. 12
	$\beta$ -アルミ青銅の恒温変態中に現われる組織	西川 精一	〃
	について	片桐 文江	
		鈴木 登	
	クロームメッキ面	松永 正久	〃
		萩生田善明	
		鈴木 登	
	活性炭による沃素の吸着速度(速報)	福田 義民	〃
	—接触汚過法の基礎研究—	河添邦太郎	
		趙 容達	
	ハロゲン化銀の焼出しコロイド状銀粒子の電	神山賢太郎	〃
	子顕微鏡的観察(速報)	鈴木 登	
	ゼラチン硬膜チューブの膨潤度および軟化度	吉永 忠司	〃
	の測定(速報)	吉川 新一	
		勝又 重則	

巻号	題目	著者	年月
8・1	ブルドン管圧力計について	小川 正義	31. 1
		古川 浩	
		笠松 勇	
	放射性同位元素コバルト 60 による $\gamma$ 線透過検査	一色 貞文	〃
		丸山 温	
	戦後 10 年間の建築思想の動き	浜口 隆一	〃
	Pb-Sb 合金の時効硬化に関する研究(速報)	加藤 正夫	〃
	—Pb-Sb-As 合金の時効硬化におよぼす時効温度の強響—	西川 精一	
	コンクリートの workability 測定法について	佐治 泰次	〃
	マグネシウム電解溶の迅速分析法(速報)	江上 一郎	〃
		細田 正	
	塩化カリの結晶変化を応用した錫の簡易分析について(速報)	岡 宗次郎	〃
		武藤 義一	
		栗原 鎮夫	
平面ラッピング機構の最適構造(速報)	松永 正久	〃	
8・2	ベビー T	高木 昇	31. 2
	ベビー T テレメータ送信機	野村 民也	〃
		長谷川 毅	
		福島 茂	
		黒川 兼行	〃
		倉茂 周芳	
		矢亀 邦夫	
		小池 光麿	
	ベビー T 地上受信設備		
	1. テレメータ受信所	高木 昇	〃
	2. 受信用アンテナ	黒川 兼行	〃
		須田 徳蔵	
	3. ベビー T 用地上受信機	倉茂 周芳	〃
		福島 茂	
	桑木 宏		
	瓜本 信二		
4. FC—4 型信号弁別器	倉茂 周芳	31. 2	
	小羽根澄夫		
5. ベビー T・テレメータ記録装置	沢井善三郎	〃	
	猪瀬 博		

			稲葉 博		
			永友 英世		
	実効反射面積の測定		黒川 兼行	"	
			須田 徳蔵		
			阿部 永雄		
	ベビー T 用計器	糸川 英夫	吉山 巖	"	
		中村 円生	山口 文二		
			中村 巖		
	全体記録およびその考察		テレメータ研究班	"	
	ランチャ内速度の測定		猪瀬 博	"	
			稲葉 博		
			吉山 巖		
	ベビー・ロケット風洞試験		玉木 章夫	"	
			三石 智		
	ベビー・ロケット飛翔実験における無線連絡		丹羽 登	"	
	ベビー・T 実験全般記録		野村 民也	"	
			黒川 兼行		
			山口 文二		
8・3	南方定点観測船上における波浪の観測		田宮 真	31. 3	
	塩素酸諸塩の製造と応用		野崎 弘	"	
			藤代 光雄		
	塑性加工製品の矯正		日比野文雄	"	
	硼酸イオンの陰イオン交換について (速報)		山辺 武郎	"	
	回転電極による現像液の酸化還元電位 (速報)		菊池 真一	"	
			原 浩		
			吉田 弘美		
	酢酸ビニル四塩化炭素のテロメリゼーション (速報)		浅原 照三	"	
			高木 行雄	31. 3	
	sec-Butanol-水-iso-Octane 系の相互溶解度		山本 寛	"	
	曲線と気液平衡 (速報)		丸山 隆		
	材料の破断特性と成形性 (速報)		山田 嘉昭	"	
	計数形サーボ機構の一試案 (速報)		大島康次郎	"	
			富成 襄		

巻 号	題 目	著 者	年 月
	逆応答プロセスの制御 (速報)	J. G. Ziegler 高橋 安人	''

### C. 生研リーフレット

No.	題 名	研 究 者 名
31	自動車の動制振器	池 田 健
32	直流型抵抗線歪計装置	大 井 光 四 郎
33	暖房用放熱器試験室	橋 藤 雄
34	電子管式擬似トラフック装置	森 脇 義 雄
35	疲労試験をスピード・アップする共振型曲げ疲労試験機	沢 井 善 三 郎 鴨 井 章
36	シリコン・クリドノグラフ	藤 高 周 平
37	連続蒸煮装置	中 村 亦 夫
38	1トン試験熔鋁炉	金 森 九 郎
39	含クロム高炉型スラックの特性に関する研究	金 森 九 郎 松 下 幸 雄
40	構造物の電気アナログ	久 保 慶 三 郎
41	殻構造の設計並びに実験	坪 井 善 勝
42	金属不燃住宅	星 野 昌 一
43	微分解析機 (改訂版)	微分解析機委員会
44	イオン交換樹脂による海水の精製	山 辺 武 郎
45	マグネシウム漂白粉の製造ならびに応用研究	野 崎 弘 金 森 九 郎
46	鉄鋼中のガス分析に関する研究	松 下 幸 雄 坂 上 六 郎
47	土の三軸試験	星 埜 和

### D. 著者および所外の学術雑誌に発表したもの

#### 第 1 部

教授 池田 健

等方性サンドウィッチ構造の曲げ理論とその応用例.

航空学会誌 3, 22, 23, 289. 1955. 11, 12



応力測定法(容量型歪計, 類似現象による応力測定法): 朝倉書店 1955. 8  
教授 岡本 舜三

自記動式地震計の試作(清宮勝行と共著): Proc. of the 5 th Japan Nat.  
Congr. of Appl. Mech. 1955.

教授 久保田 広

「カラーテレビにおける色彩論の応用 I, II, III」日本物理学会誌 10,  
6, 7, 8, 1955.

教授 一色 貞文

X線応力測定法(応力測定法の一部, 693~723 頁): 朝倉書店 1955.

助教授 大井光四郎

ポリエステル積層板の疲労強さについて(小倉公達と共著): 自動車技術  
9, 2, 1955.

応力測定法(池田外と共著): 朝倉書店 1955.

助教授 末岡 清市

On the Theory of Photo-nuclear Reaction by Independent Particle Model,  
Prog. Theor. Physics (in press). Preliminary Report at National Research  
Council of Canada.

解析学演習: 誠文堂 近日発行予定.

助教授 鳥飼 安生

A Simple Method for the Visualization of Ultrasonic Fields(根岸勝雄と  
共著): J. Phys. Soc. Japan, 10, 1110, 1955. 12.

助教授 森 大吉郎

「振動測定」(「応力測定法」の内第6篇): 朝倉書店 1955. 8.

助教授 山田 嘉昭

自動車の運動に及ぼす制動作用の影響: 自動車技術, 9, 12, 360, 1955. 12.  
試作した薄板試験機と板材の成形性に関する二・三の実験結果: 自動車技  
術会秋季大会講演会前刷, 102~110, 1955. 10.

## 第 2 部

教授 宮津 純

らせんみぞ粘性ポンプの理論: 機械学会論文集, 21, 105, 342~349, 1955.  
歯車ポンプの異常特性について: 機械学会第 32 期定時総会講演会前刷,  
1955. 4.

教授 高橋 安人

You Need No Computers to Graphically Determine the Dynamics of Heat Percolation : Control Engineering, 2, 5, 46~50, 1955.

やさしい自動制御計算法：自動制御, 2, 4, 231~236, 1955.

教授 竹中 規雄

研削作用に関する研究 (第3報 研削砥石の表面における平均砥粒密度および平均砥粒間隔) (笹谷重康と共著)：機械学会東京講演大会前刷 (第4部) 41~44, 1955. 10. 16.

研削作用に関する研究 (第4報 単粒による研削抵抗 その1) (古橋一尊と共著)：機械学会東京講演大会前刷, 45~48.

研削作用に関する研究 (第5報 単粒による研削抵抗 その2)：同上, 49~52.

教授 小川 正義

表面切削法 金属表面技術便覧 (日刊工業新聞社) 135~150, 1955. 7.

液体ホーミング「精密工作法の基礎と応用」テキスト 精機学会 1955. 6.

ねじの測定法「精密測定法」テキスト 精機学会 175~186, 1955. 8.

ブルドン管圧力計に関する研究 (研究員 古川浩 外1名と共著) 精機学会講演会予稿I 107~108, 1955. 10.

教授 鈴木 弘

線材の捻回試験について (橋爪伸, 伊藤保男, 内野照雄と共著)：塑性加工専門講演会前刷, 1955. 11.

燐青銅線の伸線 (橋爪伸と共著)：塑性加工専門講演会前刷, 1955. 11.

鋼管の押し拡げ試験について (日比野文雄, 井上勝郎と共著)：塑性加工専門講演会前刷, 1955. 11.

鋼管の逆張力引抜加工 (井上勝郎, 今井宏と共著)：塑性加工専門講演会前刷, 1955. 11.

教授 平尾 収

ジーゼル機関の温度修正 (続報)：機械学会, 内燃機関総合講演会前刷, 1955. 6.

助教授 水町 長生

ラジアルガスタービンの研究 (第1報)：日本機械学会 秋季大会講演会前刷, 1955. 9.

助教授 亙理 厚

繊維機械のための振動学 (3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10)：繊維機械学会誌 8, 7, 1955. 7., 8, 8, 1955. 8., 8, 9, 1955. 9., 8, 10, 1955. 10., 8, 12,

1955. 12.

回転機械の自励ふれ回り：機械学会誌 **59**, 444, 1956. 1.

摩擦による振動(杉本隆尚と共著)：機械学会第32期定期総会講演会前刷,  
1955. 4.

重ね板ばねの設計(たわみの大きい場合)：機械学会東京秋期講演大会前  
刷, 1955. 10.

不等ピッチばねの特性と設計(小林節夫と共著)：機械学会東京秋期講演  
大会前刷, 1955. 10.

助教授 松永 正久

ラッピングに関する研究(第5, 6報)：精密機械 **21**, 150~154, 390~  
395, 1955. 4. 9.

金属仕上面の表層電気抵抗(第2報)：精密機械 **21**, 299~303, 1955. 7.

Beilby 層に関する最近の研究：精密機械 **21**, 434~438, 1955. 10.

ラッピング機構：マンナリー **18**, 26~39, 1955. 4.

クロームメッキ面の光沢と結晶構造(第1, 2報)(第1報は萩生田善明,  
第2報は萩生田善明, 鈴木登と共著)：精密機械 **21** 455~458, 67~  
70, 1955. 11; 1956. 2.

金属仕上面の半導体性について：金属表面技術 **7**, 41~45, 1956. 3. ラ  
ッピングに関する研究(第7, 8報)：精機学会講演予稿II 85~93,  
1955. 10.

助教授 大島康次郎

時計ひげぜんまいの非直線性について(第1報)：精密機械, **21**, 7, 254~  
260, 1955.

時計ひげぜんまいの非直線性について(第2報)：精密機械, **21**, 9, 345~  
352, 1955.

時計ひげぜんまいの非直線性について(第3報)：精密機械, **21**, 13, 513  
~519, 1955.

機械工作のオートメーション：科学, **25**, 10, 533~536, 1955.

工作機械のオートメーション：機械の研究, **8**, 2, 209~215, 1956.

計数形サーボ機構の一試案(富成襄と共著)：機械学会自動制御部門講演会  
前刷, 1956. 2.

Der gegenwärtige Stand der selbsttätigen Regelung in Japan (高橋安人  
と共著)：Regelungstechnik **3**, 7, 161~166, 1955.

助教授 植村 恒義

Studies on the Explosion Mechanism of Electric Blasting Caps by Ultra-High-Speed Grid Framing Camera : J. Phys. Soc. Japan, **10**, 12, 1064~1067.

Studies on the Fracture Mechanism of the Tubing under Explosive Attack by Ultra-High-Speed Photographic Method : Proc. 4th Japan Nat. Congr. for Appl. Mech., 1955.

助教授 安藤 良夫

ソフト・トウの疲労強度ならびに応力集中緩和率について (木原博, 楠田忠雄, 飯田国広と共著) : 熔接学会誌 **24**, 10, 393, 1955. 10.

軽合金製冷却水ジャケット : 熔接技術 **3**, 11, 869~872, 1955. 11.

助教授 石原 智男

流体トルクコンバータの特殊運転性能について (井田富夫と共著) : 機械学会論文集, **22**, 113, 23~29, 1956.

トルクコンバータの特殊運転性能について (続報 使用流体中の気泡が性能に及ぼす影響) : 機械学会第32期定時総会講演会前刷, 1955. 4.

助手 森 政弘

ある計算機制御の過渡応答, 自動制御 **3**, 1, 25~33, 1956. 1.

### 第 3 部

教授 星合 正治

航空電子工学 : 日本航空学会誌 **3**, 14, 84, 1955. 4~5.

電圧型イグナイタの点弧電圧特性 (望月仁, 島村道彦と共著) : 昭和 30 年電気 3 学会連合大会 735.

教授 後藤 以紀

三値論理方程式の解法とその継電器回路理論への応用 : 昭和 30 年電気 3 学会連合大会講演論文集 [I] 8, 1955. 4.

L-C-R 直列交流回路の非線型振動 : 電気協同研究会, (送電線の直列蓋電器に関する諸問題資料集) 185, 1955. 6.

継電器回路網における補助継電器の選定法について : 電試彙 **19**, 10, 760, 1955. 10.

多元論理代数方程式の一般解について : 電試彙 **20**, 2, 81, 1956. 2.

教授 藤高周平

新愛本変電所における昭和 29 年度雷電圧記録 : 電力気象連絡会彙報 (麻生忠雄と共著), **18**, 15, 1953. 3.

ケーブル回路用避雷器動作責務試験 (北島, 富山外と共著) : 電学誌, **75**, 799, 337, 1954. 4.

電車線路の雷害 : 鉄道電化協会講演集, 第2号, 1955. 3.

Transmission Line Fault Locators in Japan : E. T. J. of Japan, **1**, 5, 1955. 5.

新北陸幹線における雷電圧の3相記録 (麻生忠雄と共著) : 電気3学会連大予, 379, 1955. 4.

ロケータにおけるパルス変圧器の適用 (細川宏一と共著) : 電気3学会連大予, 488, 1955. 4.

Distortion of Surges due to Corona on Transmission Line, (Fujitaka and Aso) : E. T. J. of Japan, **1**, 53 June 1955.

#### 教授 高木 昇

最近の水晶振動子の動向 : 電学誌 **75**, 803, 921~928, 1955. 8.

圧電気 : 電気工学ハンドブック補遺 (電気学会) **5**, 1956. 2.

今日の増巾法の使い方 : 科学 **25**, 10, 498~501, 1955. 10.

A New Ultrasonic Thickness Gauge of Cathode Ray Tube Type and Its Application (丹羽登, 佐下橋市太郎と共著) : E. T. J. of Japan, **1**, 1, 27~30, 1955. 3.

観測ロケット : 通学誌 **38**, 11, 867~875, 1955. 11.

超音波厚み計による薬品タンク腐蝕量の測定 : 化学工業 **17**, 7, 377~380, 1955. 7.

観測ロケット (野村民也, 倉茂周芳と共著) : 無線と実験 **43**, 1, 43~48, 1956. 1.

感度標準試験片 (丹羽登, 有馬春男, 畑栄一と共著) : 超音波探傷法 (丸善) **249~268**, 1956. 2.

種々の超音波探傷法 (丹羽登と共著) : 同上, 269~290, 1956. 2.

#### 教授 森脇 義雄

高周波帯域増幅器 : 通信工学講座 (共立出版) 第1, 2巻, 212. 1955. 3, 4.

電気回路入門 (須山正敏, 川西健次と共著) : 電気書院, 168., 1955-4. 電力計による表面波線路の減衰の測定 (河村達雄と共著) : 電気三学会連合大会論文集 **619**, 1955. 4.

デカトロンを用いた定位型擬似交換線群単位回路 (高崎沛美と共著) : 電気三学会連合大会論文集 **785**, 1955. 4.

無作為パルスの頻度分布測定装置(久保卓蔵, 高崎沛美と共著): 電気学会  
東京支部大会講演予稿 165, 1955. 10.

助教授 齋藤 成文

マイクロ波による空気の誘電率測定(田中邦夫, 楠正信と共著): 電学誌,  
75 (805) 1127~1132, 1955. 10.

24 kMc 帯における固体誘電特性の測定(田中邦夫と共著): 信学誌 8  
(378) 887~891, 1955. 11.

A Precision Resonance Method for Measuring Dielectric Properties of  
Low-Loss Solid Materials in the Microwave Region (K. Kurokawa と  
共著) Proc. I. R. E. 44, 35~42, 1956. 1.

助教授 丹羽 登

超音波応用: 共立出版社(通信工学講座第11巻) 1956. 1.

超音波探傷法(一部執筆): 丸善 1956. 2.

A New Ultrasonic Thickness Gauge of Cathode Ray Tube Type and its  
Application (高木昇, 佐下橋市太郎と共著): 電気学会雑誌海外版 1,  
1, 27~30, 1955. 3.

超音波厚み計による薬品タンク腐蝕量の測定(高木昇と共著)(高木昇の  
項参照)

凹凸のある板の超音波検査: 非破壊検査協会講演会予稿 No. 19, 1955.  
11.

Sensitivity Standard Test Block for Ultrasonic Flaw Detector (山内二  
郎, 高木昇と共著) 国際非破壊検査会議(於 Belgium, Brussel, 1955. 5.)  
提出論文; 非破壊検査, 4, 1, 42~43, 1955. 5. に転載

学振 I 型超音波探傷器用感度標準試験片(有馬春男と共著): 非破壊検査,  
4, 2, 72~78, 1955. 8.

超音波斜角探傷法による溶接部検査: 溶接技術, 3, 7, 523~528, 1955. 7.

Q メータによる箔厚測定(奥野裕と共著): 非破壊検査協会講演会予稿,  
No. 20, 1955. 11.

助教授 野村 民也

電子管式アナログ・コンピュータによる周波数応答の計算(池田健, 富田  
文治, 長谷川毅と共著): 昭和 30 年度電気三学会連合大会予稿 563.

相似型電子計算機: 統計, 7, 1, 10, 1956. 1.

助手・特別研究員 尾上 守夫

水晶電動子のある種の輪廓振動について: 電気 3 学会連大 No. 231,

1955. 5.

超音波遅延回路：信学会超音波専門委資料 1955. 5. 20.

超音波遅延回路における往復多重反射の問題：信学会超音波専門委資料  
1955. 5. 20.

濾波器用水晶共振子の一測定法：信学誌 **38**, 6, 444~447, 1955. 6.

超音波遅延回路：信学誌 **38**, 6, 495~500, 1955. 6.

板及び丸棒の速度分散方程式の根の検討：信学会超音波専門委資料 1955.  
7.

Network Transformations Concerning Jaumann Networks : Proc. I. R. E.  
**43**, 8, 1015, 1955. 8.

円形及び正方形圧電振動子の輪廓振動：第5回応用力学連合講演会 No.  
412, 1955. 9.

円形圧電振動子の Tangential Mode : 信学会秋季大会 No. 13, 1955. 10.

等方性弾性円板の厚み滑振動：信学会超音波専門委資料 1955. 2.

トランジスタ定数測定の一方法：信学会トランジスタ回路専門委資料  
1956. 2. 22

助手 麻生 忠雄

雷害家屋の实地調査：電力気象連絡会彙報, 15号, 34, 1955. 3.

見座発電所簡易 F 型ロケータ試験について (森川外と共著), 電気3学会  
連大予, 447, 1955. 4.

架空鉄線の衝撃特性：電気学会東京支部大会, 118, 1955. 10.

## 第 4 部

教授 高橋 武雄

High Viscous Alginic Acid. (木本浩二と共著), Bull. Chem. Soc. Japan,  
**28**, 519~523, 1955. 9.

本邦アルギン酸工業を顧る：化学工業時報, 第847, 848, 849号, 1956. 1.

教授 菊池 真一

The Polarographic Studies with the Rotating Platinum Electrode of  
Developing Agents (K. Honda and S. Kin と共著) : Bull. Sci. Phor.  
Japan. No. 4~5, 13, 1956.

銀電位滴定法による Aza-Indolizines の研究 (秋庭和美と共著) : 日本写真  
学会誌, **18**, 20, 1955.

迅速定着に関する研究 (吉永忠司等と共著) : 日本写真学会誌 **18**, 59, 1955.

最新写真処方ハンドブック (笹井, 友田と共著) : アミコ出版 1955. 5.

教授 山本 寛

抽出蒸溜について : 化学工業, **6**, 482, 1955. 6.

助教授 浅原 照三

ニトロパラフィン及びその誘導体 : 有機合成協会誌, **13**, 203~215, 1955. 5.

ゼラチン滴法による薄膜防錆油の発錆試験 (後藤健一と共著) : 金属表面技術, **6**, 138~142, 1955. 7.

アルキルベンジルケトンの合成 : 油脂化学協会誌, **4**, 324~7, 1955. 11.

パラフィン面上における界面活性剤の接触角に関する研究 (後藤健一と共著) : 工化誌, **58**, 864~867, 1955. 11.

モノクロル酢酸の縮重合反応 (岡崎英博と共著) : 工化誌, **58**, 999~1001, 1955. 12.

$\alpha$ -オレフィンよりオキシソ法による高級アルコールの合成 (その2) : 油化学, **5**, 19~22, 1956. 1.

テロメリゼーション : 有機合成化学協会誌, **14**, 42~47, 1956. 1.

連続向流式減圧脱色法 : 真空化学, **4**, 25~31, 1956. 1.

金属の塗装 : 日刊工業新聞社, 1955. 12.

助教授 野崎 弘

金属チタニウム製錬の重要点は何か : チタニウム, **32**, 429, 1955.

マグネシウム漂白粉の殺菌と漂白力試験について : 工化誌, **58**, 156, 1955.

助教授 加藤 正夫

The Field Experiment of Littoral Drift using Radioactive Glass Sand :  
International Conference on the Peaceful uses of Atomic Energy,  
1955. 8.

Brief Review of Applications of Isotopes in Process and Quality Control  
: International Conference on the Peaceful uses of Atomic Energy,  
1955. 8.

放射性同位元素の工業的応用 : JIS, **8**, 2, 3.

放射性同位元素の工業的応用 : アイソトープ, 1955. 8.

ラジオオートグラフィーの金属への応用 (第1報), Fe-59による高純度アルミニウム中の鉄の挙動の観察 (小林昌敏と共著) : 日本金属学会誌,  
**19**, 10, 616~619, 1955.

溶液中の放射能強度の測定方法 (武谷清昭と共著) : 電気化学, **23**, 9, 438~440, 1955.



放射性同位元素  $\text{Ag}^{110}$  を用いた銅電解液中の  $\text{AgCl}$  の溶解度測定に関する研究(武谷清昭, 山本達郎と共著): 電気化学, **23**, 9, 441~445, 1955.

助教授 武藤 義一

定電位電解法(藤永太一郎と共著): 分析化学, **4**, 321~332, 1955. 7.

化学におけるエレクトロニックスの応用: 科学, **25**, 525~528, 1955. 10.

助教授 山辺 武郎

ドンナン平衡を基礎として得たイオン交換平衡値について: 工化誌, **58**, 915~917, 1955. 11.

陰イオン交換による海水の精製(第4報) 強塩基性陰イオン交換樹脂による硫酸根の除去について: 日本塩学会誌, **9**, 4, 188~192, 1955. 11.

陰イオン交換によるアルカリの製造: 工化誌, **59**, 20~22, 1956. 1.

Ca サイクルのイオン交換平衡に関する研究: 工化誌, **59**, 144~146, 1956. 2.

助教授 松下 幸雄

溶銑一溶滓間のクロム分配平衡(金森九郎, 新実稔生と共著): 鉄と鋼, **41**, 1075~1081, 1955. 10.

化学冶金の基礎(I), (II), (III): 日本金属学会誌, **19**, A-195~198, A-215~218, A-239~242, 1955. 10, 11, 12.

研究員 東畑平一郎

ペンチュスクラッパーの理論と設計: 最近の化学工学 1955年版(丸善)

## 第 5 部

教授 渡辺 要

神奈川県音楽堂の音響について(第1報・音響設計について), (第2報・音響測定結果について)(石井聖光と共著): 建築学会研究報告, 31号, 1955. 5.

東北地方の建築気候区と防寒防露構造: 建築学会研究報告, 33号, 1955. 10.  
住居の質的類型に関する研究(城谷豊と共著): 建築学会研究報告, 33号, 1955. 10.

栃木会館の音響について(石井聖光と共著): 建築学会研究発表会, 1956. 2.  
吸音に関する実験, 第3報. プラトン, ホモトンの吸音性(石井聖光と共著): 建築学会研究発表会, 1956. 2.

教授 小野 薫

強度計算から構造計算へそして再び強度計算へ: 建築雑誌, 1955. 5.

正直者が損をする話 (田中尙と共著) : 建築界, 1955. 4.

材料安全率の追放 (田中尙と共著) : 建築界, 1955. 3.

教授 星野 昌一

鉄道車輛の色彩調節 : 車輛の快適性増進講演会資料 4, 機械学会, 1956. 2.

教授 坪井 善勝

鉄骨鉄筋コンクリートに関する実験的研究 (No. 10) 剪断力を受ける梁の実験 (2) (若林実, 渡部保美と共著) : 建築学会研究報告 31号, 1955. 5.

同 上 (No. 11) 剪断力を受ける梁の実験 (3) (若林実, 渡辺保美と共著) : 建築学会研究報告 32号, 1955. 9. および 33号, 1955. 10.

同 上 (No. 12) 鉄骨の附着に関する実験 (1) (若林実, 渡辺保美と共著) : 同上 32号, 1955. 9. および 33号, 1955. 10.

同 上 (No. 13) 剪断力を受ける柱の実験 (2) (若林実, 末永保美と共著) : 同上 35号, 1956. 3.

短期応力を対象とするはりハンチの配筋効果に関する実験的研究(その3) 鉄筋コンクリート架設合部に関する研究(第12報) (矢代秀雄と共著) : 同上 35号, 1956. 3.

実験による截断球殻の特性の考察 (青木繁と共著) : 同上 31号, 1955. 5.

実験による截断球殻の特性の考察 (その2) (青木繁と共著) : 同上 33号, 1955. 10.

鉄筋コンクリート造殻の Limit Design (軸対称回転殻の場合) (秋野金次と共著) 同上 31号, 1955. 5.

無梁板構造の再認識 (森央二と共著) : 同上 33号, 1955. 10.

教授 星埜 和

繰返し応力による三軸試験結果 : 土木学会第11回年次講演集 1955. 5.

交通調査から見た混合交通の実態とその対策 : 第3回道路会議論文集 1955. 11.

教授 丸安 隆和

新制測量上, 下 (水野俊一と共著) : オーム社,

助教授 浜口 隆一

日本の近代建築 : 世界美術全集 日本近代篇, 平凡社,

助教授 勝田 高司

屋内気流の2, 3の実測例について (後藤滋と共著) : 建築学会研究報告, 31号, 1955. 5.

排熱用天蓋フードの実験 (後藤滋, 寺沢達二と共著) : 建築学会研究報告,

33号, 1955. 10.

全方向微風速計の試作(後藤滋と共著)：建築学会研究報告, 33号, 1955. 10.

助教授 井口 昌平

新制発電水力・ダム・河川(安芸皎一, 市浦繁と共著)：オーム社.

助教授 池辺 陽

現代のデザインと和風：新建築, 1955. 6.

建築デザインのリアリティ：建築文化, 1955. 9.

快樂主義への傾斜と闘う：新建築, 1955. 11.

モジュールの追究：国際建築, 1955. 11.

住居 (No. 28, No. 29)：新建築, 1955. 11.

現代のデザイン(勝見勝等と共著)：河出書房, 1956. 2.

助教授 三木五三郎

土質力学—基礎篇および応用篇—(小野薫, 星埜和, 他1名と共訳)：487, 丸善, 1955. 6.

土質調査：農業土木中堅技術者再訓練テキスト, 57~81, 1955. 9.

土の性質一般：土質工学会講習会テキスト「土質工学入門」 1~34, 1955. 12.

助手 佐治 泰次

コンクリート無破壊試験：建築学会研究報告, 31号, 1955. 5.

コンクリートの調合設計に関する研究 (No. 1) 同上 梗概集, 1955. 9.

コンクリートの調合設計に関する研究 (No. 2) 同上 33号, 1955. 10.

助手 村松貞次郎

科学技術政策：世界大百科事典第4巻, 平凡社.

わが国の技術政策の展開とその背景：技術史研究 No. 5.